

AED
Automated External Defibrillator



あなたにも救える命があります

阪大生ナイス連係 仲間救う

大阪大豊中キャンパス(豊中市)で20日、フットサルをしていた1回生の男子学生(18)が一時心停止になり、一緒に練習していたサークルの仲間が連係して一命をとりとめた。119番通報で消防職員から人工呼吸のやり方を聞いて、素人ながら実践した機転が生きた。後遺症もなく、近く退院するという。

阪大によると、男子学生は20日午後3時ごろ、ボールを胸でトラップしたときに仰向けに倒れた。意識はなく、心臓は鼓動していなかったという。すぐに10人余りの仲間が手分けして、119番通報、人工呼吸や心臓マッサージ、キャンパス内の保健

心停止→一命とりとめ→泣いた

センターの連絡に当たった。

数分して駆け付けた同センターの看護師が、自動体外式除細動器(AED)を作動させ、通報から6分後に救急車が到着したときには意識を取り戻した。人工呼吸と心臓マッサージをした4回生の古田浩太郎さん(23)は「3年半前に車の免許をとったときに人工呼吸を習っただけ。意識が戻ったときには仲間がみんな泣いていた」と話した。

市消防本部の浜西正吉・救急課長補佐は「心停止から数分の対応が大きかった。大した連係です」。主治医も「奇跡的な回復」と話しているという。(市原研吾)

平成22年10月6日に行われた第一回に引き続き、標記講習会を実施します。この講習会は、災害・事故等の緊急時における救急蘇生法等について、実演を行いながら、わかりやすく学べますので、多数参加してください。(本講習会受講者には「普通救命講習修了証」が発行されます。)

日 時:

平成23年1月17日(月) 14:45~17:45

(受付 14:30~)

場 所:

豊中キャンパス学生交流棟3階「練習室1」

主 催:大阪大学学生生活委員会

内容等:応急手当普通救命講習

模擬訓練(AEDの取扱いを含む)

協 力:豊中市消防本部

申込先:学生センター(吹田・豊中・箕面)

申込〆切:平成23年1月11日(火)(先着30名)

